

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

| No. | タイトル | 評価項目 | 自己評価 | 記述 | 運営推進会議で話しあった内容 | 外部評価 | 記述 |
|--------------------------|-----------------|---|--|---|---|--|---|
| I. 理念・安心と安全に基づく運営 | | | | | | | |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 年度目標を設定し、玄関口に設置することで、職員間での共有を図っている。ユニット会にて、振り返り評価を行うようにしている。 | | | ①ユニット会で振り返り評価を行うことで、自分が決めた目標をあらためて再認識することができると思います。 |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない | 地域住民との行事の外部活動は実施できていないのが現状であり、地域交流という面では、夏ボラの受け入れのみとなっている。ごみ捨て時に、近隣住民と言葉を交わす事はある。 | コロナ後の地域との関わりが減少している為、今後は少しずつ関り増やしていきたい。朝倉防災会の方には、今年度も防災訓練に参加していただいた。また、防災関連に対するアドバイスもいただいた。 | | ①コロナ期間中、どうしても地域住民との距離ができたことはいたしかたないと思います。地域とのつながりは決して大きな行事ごとでなくてもよいと思います。365日通し地域に存在する事業所として、住民との挨拶や感謝の気持ちを言葉にするという日常の習慣を大切にしてほしいと考えます。 |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 運営推進での内容は、ユニット会等で話し合い、周知している。ヒヤリハットを報告することで、どのような時にどういった事故が多いのかも解析し、対応を都度模索している。 | 民生委員の山崎様からは、ヒヤリハット件数を増やす事で、未然に重大な事故への回避ができる為、ヒヤリハット件数を増やしていくアドバイスをいただいた。 | | ①運営推進会議で検討した内容をしっかりとフィードバックできていると思います。ヒヤリハットを報告、そして対策を検討することで大きな事故を防ぐことにつながっていくと考えます。ご利用者の小さな変化を見逃さないという気持ちを見て取ることが出来ます。 |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 市町村の担当の方への参加依頼を行っているが、今年度は参加までつなげることができていない。運営推進会議事録をお渡しさせていただいている。 | 今年度は市町村側の参加がなかった。その為、情報共有や意見交換の機会が十分に確保できなかった。外部評価の協力依頼は行い、回答もいただいている。 | | ①どのくらいの頻度がベストなのかはわかりませんが、制度の改正があった年度には特に情報共有が必要と考えます。運営推進会議議事録を渡しておられるとのことで、事業所としては市担当者との協力関係は構築されていると考えています。 |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ユニット会で身体拘束・虐待について話し合っている。研修を定期的に行い、身体拘束のないケアに取り組んでいる。 | | Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①研修を定期的に行い、周知・徹底できていると考えます。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ユニット会で虐待についての話し合いを行っている。お互いのケアを確認し、必要時はアドバイスを行っている。研修を定期的に行うことで身体的だけでなく、言葉 | | A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①身体的な不適切なケアへの対策はもちろんのこと、ご利用者の呼名も統一されていると思います。こちらが意図していなくても、ご利用者から「不機嫌そう」と思われたり、「相手にしてくれん」と取られることもあろうかと |

| | | | | | | | |
|----|--------------------|--|--|--|--|--|--|
| | | | | 遣いや態度にも気を付けている。 | | | 思います。職員間でよいケアの共有、あらためた方がよいケアをお互いが言いやすい環境作りを今後もつくっていただければと思います。 |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者の尊厳を保ち、制度への理解を活用する為の研修を行っている。 | | | ①実際に現場の職員さんが後見や日常生活自立支援事業へつなぐことはあまりないかもしれません。しかしご利用者の中には入居時、もしくは入居中に制度の活用があるかもしれません。ご利用者の尊厳を保つために、制度への理解を深めることは大切だと考えます。 |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 算定加算変更時書面でお知らせを行っている。加算について詳細な説明を希望された際には、個別に説明も行っている。 | | | ①入居の契約時より、退去の時の方が何らかのトラブルが生じやすいと考えます。今後も十分な説明の実施、ご利用者・ご家族が本当に説明を受けた内容をご理解されているかの確認が必要かと思えます。 ②加算など金額に関わる部分を詳細にご説明いただいているとの事で、不信感を抱かせない方法のひとつだと思います。 |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ご家族の意見や要望は直接職員や管理者へ口頭で話されている。SNS等を用いてスピード感を持って意見の収集を行っている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①ご利用者やご家族との緊密な連携が図れていると思います。 ②定期的に個別にお話される機会を設けられているという事でしょうか。主に SNS を用いた収集はどういった方法でしょうか。 →(回答)面会や電話連絡時、またケアプラン変更時に意向と一緒に尋ねるようにしています。気になった時はご家族から連絡いただく事もあります。SNSについては、LINE でのやりとりが主になります。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ユニット会で意見交換であったり管理者の意見を伝えたりする場を設けている。また、普段思った事を相談できる環境は作れていると思うが、反映という面においては難しい事例もある。 | | | ①職員さんも自分たちの意見が即運営に反映されるとは考えておられないかもしれません。しかし代表者・管理者目線では気づきにくい現場の声に耳を傾けることで、よりよい運営につながっていくことができるのではと考えます。 |

| | | | | | | | |
|----|------------------|---|--|---|--|--|--|
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①向上心を持って働ける職場であれば、もし仕事の壁にぶつかってとしても、それを糧にして成長できると考えます。代表者が個人の持つ良いところを伸ばし、職員間の競争ではなく、お互いを高め合っていけるような就業環境を目指して行って欲しいと思います。 ②具体的な取り組み(把握する、整備する方法等)を教えてください (回答)勤務状況把握について、現状の業務内容で職員への負担はないのかユニット会等で話し合いを行い、業務内容のタイムスケジュール変更を行っています。腰痛職員が増えている中での、重度化したご利用者へのスライディングボードを使用した介助方法や車いすの変更を行っています。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 外部研修は全職員ではないが、参加する事ができており、法人内研修においては、定期的に動画研修や資料配布しレポートを提出し全員参加できている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①外部研修では、講義や演習内容だけではなく、同じあるいは多職種の方々との情報交換ができると考えます。法人内研修はもちろん、できるだけ多くの職員さんが外部の研修を受けられるような体制をお願いします。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない | 管理者、認知症実践者研修参加者2名は同業者との交流機会があった。職員全員が交流する機会は作ることができていない。 | | | ①認知症実践者研修では事業所が一丸となって取り組み、その成果を当事者は発表されたと思います。職員さん全員の交流の機会が難しい時も、その職員さんの研修内容を共有することでサービスも質の向上につながっていくと考えます。 |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者様同士で自ら会話をされる事が少ない為、間に入って輪を作る様な対応を心掛けている。仲間意識を持って頂けるように、レクや家事作業を行って頂いている。 | | | ①ある時は介護職員として、ある時は家族のような対応が望まれる職員の皆さん。ご苦労も多いかと思います。グループホームあさくらさんを一つの大きな家族と捉え、ご利用者が何らかの役割を感じることができるようなかかわり方をさせていただければと存じます |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない | 外出機会は少ないままである。面会に来られる方、なかなか来られない方と、さまざまである。施設からは、月に1回お手紙で近況を報告する事を行っている。 | 以前より面会に来られるご家族が増えている事を説明。現状職員が連れ出での外出はできないが、ご家族が協力して近所のスーパーであったり、自宅へ連れて帰ったりする方もおられる事を説明した。 | | ①入居となるとどうしても住み慣れた場所から離れてしまい、必然的になじみの関係が薄れがちです。月1回近況報告をされているとのこと。面会が難しいご家族には、できれば半年に1回程度の返信願ってみてはいかがでしょうか。 |

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | | | | | | |
|----|----------------------|---|--|---|--|--|--|
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 自ら居室で過ごされている方は意向を尊重し、ホールで日中過ごされる方々に対しては、個々の好みやできる事を把握し、個別ケアに努めている。 | | | ①おひとりおひとりの個性を大切にしつつ、できるだけ交流を図れるような取り組みを続けて行ってほしいと考えます。 |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 担当者がモニタリングとアセスメントを実施し、計画作成担当者が介護計画作成を作成。状況に応じて早めに介護計画の見直しを行っている。 | 運営推進会議時に、各ユニット内で行っている取り組みについて報告している。 | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①認知症の進行や身体状況の変化に伴い、ケアプランの内容にも変更の必要性が生じてくると思います。担当者だけでなく、多方面からの意見をもらいながら見直しをされているとのこと。今後も適宜、ご利用者に即した計画作成に勤めていただければ存じます。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 毎月のユニット会で気づきや変化を持ち寄り、今後の対応について意見交換している。リスクマネジメントの観点からヒヤリハット件数を増やし共有している。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①職員さんはローテーション勤務であり一堂に会してケアをすることはありません。申し送りや個々が記入した個別記録は情報源となりますので、小さな変化を見逃さずこつこつと記入されることをお勧めします。ヒヤリハットは気づける・上げられる・検討と共有ができる体制を続けてほしいと思います。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 買い物支援は家族様に替わって職員が対応できるようにしている。シャワー浴が困難な利用者には特浴利用する事で清潔保持に努めている。 | 特浴については、看護小規模多機能ホームあさくらの機械浴室を利用して対応している事を説明した。 | | ①買い物は職員さんおひとりではなく、できればご利用者・他のご利用者も一緒にいけるようになるとうと考えます。個々のニーズに即したサービス提供ができています。 |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない | 運営推進会議に参加して頂いているメンバー様より地域資源についての情報提供は頂いているが、積極的なボランティアの受け入れや地域社会への活動参加には至っていない。 | 今年度は、ナツボラの受け入れ行い、ご利用者がとても喜んでいた事報告。希望日時が合わず受け入れ数が少なかった。 | | ①地域資源があっても、そことのマッチングはなかなか難しいと思います。いろいろな制限はあるかと思いますが、ボランティアさんを受け入れることで、ご利用者の生活の活性化も図れると考えます。 |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 月に2回の訪問診療と週1回の医療連携でナースに報告相談又は急変時等も行っている。薬の変更や臨時薬処方時は家族様に報告している | | | ①医師、看護という医療が身近にあることで、ご利用者・ご家族ともに安心して生活を送ることができると思います。特に急変時対応や、処方薬変更にも対応されており、なおのこと安心できると思います。 |

| | | | | | | | |
|----|---------------------|--|--|--|---|--|--|
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 入院先の相談員と連絡を取り合い又家族様とおも相談しながら、利用者様が十分に治療を行え、グループホームに戻れるように努めている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①年齢的にもどうしても入院せざるを得ない場合もあるかと思えます。入院先の病院との連携を図り、十分な治療後、グループホームに戻っていただければと思います。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 重度化や終末期の状態になる時は家族様に早めに報告して意向等伺うようにしている。看取り介護について実施している事を伝え痰吸引が必要になると看護師が常在していない為、行えないこと等伝え同意を得ている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①できれば早い時期、入居時からACPを行い、ご利用者とご家族・事業所間での情報共有をしていければと考えます。そしてそのACPは適宜見直しを行い、できる限り意向に沿うことができるように何度も話し合いを重ねることが大切かと思えます。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 動画研修や資料配布し定期的な研修会は継続して実施できている。今年度はAEDの使用方法について外部依頼し、実践できる研修も行う事ができた。 | | | ①急変や事故時は慌ててしまい、訓練を受けた内容をぼっかり忘れてしまうこともあります。平時から訓練を重ね、実践に結び付くような取り組みを継続されるとよいと思えます。 |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 防災訓練時は、朝倉防災会の方に参加していただき、アドバイスを頂いている。従業員の入れ替わり時には、連絡網の見直しを行った。ご近所との協力体制について、高齢化もあり、確立はできていない。 | 朝倉防災会より、シューターで降りる際に車があると妨げになる為、シューターの降り口に駐車禁止の印をつける様にアドバイスをいただいた。 | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①防災訓練は積極的に実践されていると思えます。避難経路の確保や誘導までスムーズにできていると思えます。災害時はご近所との協力は必要となります。事業所内の訓練にとどまらず、地域の防災訓練へ参加し、共助の精神を共有されていければと考えます。 |

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

| | | | | | | | |
|----|--------------------|---|--|--|--|--|---|
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉掛け対応ができる様に努めている。不適切ケアについては、ユニット会にて議論実施。不十分なケアについては、検討後に個々へアドバイスをを行っている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①親近感を持つためにも思い、ご利用者をちゃん付で読んだり、幼稚に対応する場面を他法人で聞いたことがあります。意外に職員さん自身は気が付かないかもしれず、個々にフランクにアドバイスをしあえる関係性を構築してほしいと思えます。 ②不十分なケア時の事例とはどういったものがありますか。 またその事実が発見される場面はどういったところですか。 (回答)不十分なケアで多いのが、「ちょっと待つて」のスピーチロックとなっています。他のご利用 |
|----|--------------------|---|--|--|--|--|---|

| | | | | | | | |
|----|----------------|---|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | 者対応中に離設や転倒リスクが高いご利用者に対して使っている場面が最も多いです。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 一人ひとりの日常生活における希望や意向に沿って支援している。並行して一人ひとりの生活ペースに合わせた支援は難しい時もある。できる範囲での支援ができるように努めている。 | | | ①個々の暮らしを大切にしつつ、とは言うものの共同生活であることには変わりはありません。取り組まれているように「できる範囲」での支援に努めることが大切であると考えます。 |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 季節感を感じて頂けるように特別食(バーベキューや鍋等)を提供。できる範囲での盛り付け等作業も行っている。食事として楽しむ方が多い中、認知面で理解し楽しむ事ができない利用者もいる。 | | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①食べることは人生の喜びであり、彩りや包丁の入れ方ひとつで、その楽しみは倍増すると思います。暦の5節句(七草、桃、端午、七夕、長陽)を中心に、できる範囲で職員さんと一緒に盛り付けたり、献立の提案ができるとよいと思います。 ②認知面による影響から楽しむ事ができない利用者について吟味されていることや工夫されていることはありますか？ (回答)食べる事を忘れてしまっているご利用者に対しては、ホールで過ごす時間に好きな音楽番組を流す等の対応をしています。食事に関しては楽しむ出なく摂取できるように、ミキサー食でも水分多めにして、吸って飲み込めるように食事形態を工夫しています。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 食事・水分摂取には気を付け提供。状態により摂取できない時は、別の物を捕食する対応や、水分(ゼリー、ジュース等)提供。 | | | ①食事の携帯は様々であると思います。誤嚥の危険性もあり、個々に応じたこまめな対応が望まれます。食事・水分ともに摂取量だけでなく、飲み込みの具合やとろみの調整など、記録に残しておかれることをよいと思います。 |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用者一人ひとりに合った支援を行っている。介助が必要な方については、全介助でなく必要な介助のみの支援を行っている。家族に同意が頂けた方には、歯科往診を定期的を受け、職員が専門職からアドバイスを頂いてい | | A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①口腔ケアは誤嚥性肺炎を予防するためにも重要なケアであると考えます。費用の負担もあり、ご利用者全員の歯科往診は難しいかもしれませんが、職員さんが歯科衛生士さんからレクチャーを受け、その技量をご利用者に反映できればと考えます。 |

| | | | | | | | |
|----|----------------|--|---|---|--|---|---|
| | | | | る。 | | | |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | 利用者の生活リズムを把握し、手前でのトイレ誘導を行っている。利用者の排泄サインを見逃さない様に観察している。緩下剤を活用する事でなるべく体に負担がかからない様取り組んでいる。 | | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | <p>①ご利用者の排泄リズムをつかんでいるとのこと。便秘は食欲不振や気分の落ち込みまたはBPSDの引き金になることもあります。緩下剤を使用しつつも、できるだけ自然な排便ができるように、積極的な水分摂取や日中の活動性を上げることに取り組まれるとよいと思います。</p> |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | <input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | 利用者の希望タイミングに合わせての入浴を全員にはできていない。主に午前中の入浴が中心となり、利用者の清潔保持ができる様に3日1回ペースで入浴を実施している。 | | | <p>①午後～夕刻の入浴は、職員体制の観点から実施が難しいかと思えます。午前中の中の入浴が決してよくないわけではなく、もし希望者がいれば午後からの手指浴や足浴対応でもよいかと考えます。ゆっくりと手指を温め、マッサージ～ハンドクリームを塗ることで心がほっこりするような気がします。</p> |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | <input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | 利用者の体調や意見を尊重し、休みたい時には休んで頂いている。昼夜逆転や活動不足にはならない様ある程度の時間制限は設けている。 | | | <p>①昼夜逆転にならないように、体調不良時以外は、日中の活動の確保が大切と考えます。決して体操やレクリエーション参加だけでなく、ホールで他のご利用者や職員さんと過ごす時間も活動のひとつと考えます。</p> |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | <input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | 毎月のユニット会で服薬方法について話をしている。服薬変更時は日誌に記入し、情報共有をしている。誤薬のないように服袋の名前と利用者の顔の確認を行っている。服薬事故が発生時は速やかに医療報告するように心掛けている。 | | <input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない | <p>①服薬支援の時は、かなりの緊張感があると思えます。お薬が落下したまま気が付かない、口腔内に残っている、服薬時に使用したコップの底にお薬が沈んでいる等ター口に誤薬と言っても様々であると思えます。今後も今なされている取り組みを継続されていくとよいと思えます。</p> <p>②”B”の評価された理由はこういったものですか？ (回答)朝服用しなければいけなかった薬を服用できていない日があった為です。</p> |

| | | | | | | | |
|---|---------------|--|--|--|--|--|--|
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 季節の行事を取り入れている(正月に書初め、節分に豆まき等)。時折、外食サービスも提供し、普段とは違う食事を楽しんで頂いている。 | 食事面では、特別食事内容について、「いつも写真で見ると美味しそうだなと思っています」との意見をいただいた。高齢者ではあるが、意外にもファーストフードを好まれる方が多く、食事摂取量が低い方もその時は全量摂取していることを説明した。 | | ①過ごしてこられた生活の延長に今のグループホームでの生活があると思います。繕い物やアイロンがけ、野菜を栽培したりプランターへの植栽等々、個々のアセスメントを通じてご利用者の笑顔や満足感につながるような支援をお願いできればと考えます。 |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 送迎車の関係もあり、利用者1~2名とのドライブ、他事業所のイベント参加も行った。コロナが第5類後は、家族との外出や外食も再開している。 | 外出実施した際は、運営推進会で報告し、内容説明を行った。 不穏や帰宅しようと離脱する利用者に対し、家族が関わりを持って対応している説明も行った。 | | ①現在の対応で十分ではないでしょうか。コロナ禍の時は外部との交流が遮断されづらい思いをされたと考えます。感染状況を鑑みながら、外出支援を続けていきたいと思えます。 |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 個別に現金を家族から預かっているが、実際お金を持って買い物に行くのは特定の利用者に限られている。また、実際購入時の支払い方法が機械での対応となり戸惑う方が多い。 | | | ①支払いが機械化され戸惑うこともあると思います。機械の前で時間がかかるかもしれませんが、周りの方々に配慮しながら、ご本人が財布からお金を出し、支払うという一連の行為を、今後も支援をお願いしたいと思います。 |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. あまりできていない D. ほとんどできていない | 特定の利用者(携帯電話持参の方)への対応はしているが、全ての利用者への支援までには至っていない。 | | | ①ご利用者皆様が携帯電話をお持ちではないので、手紙でのやり取りができればと考えます。No.15にも記載しましたが、半年に1回程度の手紙のやり取りの支援ができればと考えます。 |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 利用は間でのトラブルが起きないように適切な距離感を持ってコミュニケーションが取れるようケアしている。ホールの壁は季節を意識した飾りつけをしている。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①共用部分の清潔管理や、心地よく感じていただける装飾をされているとのこと。季節の移ろいを感じ取ることができるような飾りや草花を活けるような取り組みを今後も続けていって欲しいと思えます。 |
| IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目) | | | | | | | |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 食べたい物や飲みたい物を用意したり、更衣時には本人に衣服を選んで頂いたりしている。 | | | ①ご利用者の趣味嗜好に沿った選択ができるような支援を今後も続けてほしいと思えます。 |

| | | | | | | | |
|----|-----------|---|---|--|---|--|--|
| 41 | | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 居室に水分を確保したり、洗濯たたみが日課の利用者には洗濯物を渡して頼んだり利用者各々の日課を行えるようにしている。 | | | ①あらためてアセスメントの重要性を感じます。これまでの暮らしの中で大切にされたことや好き嫌い等々、深堀することを何度も重ねることで、今のご利用者に即したケアの展開ができると考えます。 |
| 42 | | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 朝倉医療クリニック、高知西訪問看護リハビリステーションとの連携により、訪問看護、医療的な対応を個別の状況にて十分に対応できており、緊急時、看取り時への対応もスムーズである。 | | Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①素晴らしい取り組みをされており、ご利用者・ご家族も安心されていると思います。 |
| 43 | | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 本人の希望に応じて対応しており、一人ひとりの暮らしの流れを尊重し、今どうしたいのか？を、優先に対応している。支援する事でできる事を目標にしている。 | | | ①日々のケアの中で、ちょっとした変化や希望を職員間で共有し、個々の希望に少しでも添えるような対応をしていただければと思います。 |
| 44 | 生活の継続性 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている | Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 自宅で使用していたものや写真など居室に飾るようにしている。部屋の雰囲気作りも考え実行している。利用者の状態に応じた居室整備を行えている。 | | Ⓔ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①素晴らしい取り組みをされていると思います。自室が利用者にとって、安心・安全に過ごせる場所であることを望みます。 |
| 45 | | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる | A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓔ. ほとんどできていない D. ほとんどできていない | 家族の方と出掛ける方は数名いるが、日常の中での外出によるレクリエーション等はできていない。少人数での催事(祭事)への参加等検討が必要である。 | 現状は、意向に添った外出支援はできていないが、家族の協力による外出支援は継続して行っていることを説明した。 | | ①ご利用者の希望があっても、日常的に外出は難しいと考えます。気候や気温を見ながら、少人数での戸外への散歩をすることで、気分転換や下肢筋力の向上を図ることができればと考えます。 |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 役割分担をする事で、他利用者が協力して作業する事ができている。 | | | ①こちらができないと書いていても意外とできたり、わからないだろうと思っていてもそうでもないこともあるかもしれません。もしかしたらそれも日々あるいは長いスパンで変化があるかもしれません。いろいろな役割を体験することであらたな楽しみが生れるかもしれません。 |
| 47 | | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 作業中、会話もしている。作業時にアドバイスをし合う場面もあり。 | | A. 十分にできている Ⓔ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①ご利用者同士あるいは職員さんとの会話の橋渡しを行い、誰もが臆せず自らの言葉で発語ができるような支援を今後も続けてほしいと考えます。 |

| | | | | | | | |
|----|----|--|---|--|--|---|--|
| 48 | | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない | 交流はできていないが、今後の交流として保育園のバザーに出す植物を育て、利用者と一緒に保育園へ提供しに行く予定となっている。 | ご家族との交流や外出はできているが、近隣との交流はできていない。 | | ①予定されている取り組みはとても素晴らしいと思います。役割を持ち、そしてそれが人に喜ばれるものであればなおのことだと考えます。 |
| 49 | 総合 | 本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | 前年度と比べ、外出や外部との関りは増えている。夏場は、気温も上昇して健康面の心配もあり、積極的な外部参加はできていない。今回ナツボラに参加し、2名の学生が来られた際は、利用者がとても喜ばれていた。 | 運営推進会議の資料内に、日常生活の写真やイベント時の様子を写真掲載している。特別メニュー(食事)も掲載している。豪華な食事やファーストフードの食事提供に、「いいですね」とのご意見をいただいた。 | A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない | ①細やかなケアを受けながら、安心して生活を送られていると考えます。ご利用者によっては、グループホームあさくらさんが終の棲家になる場合もあると思います。一日一日を大切に、かけがえのない日々を送ってほしいと思います。また、それを仕事とされていることを職員さんも誇りに思っしてほしいと考えます。 |